

天海珈琲5周年記念「五大に皆響きあり」

10月
10



中村会子 AIKO NAKAMURA 中世南欧音楽の夕べ

会場 天海珈琲 AMAGAI COFFEE
(石狩市厚田区嶺泊67番地3)

日時 10月10日(土) 5pm~ (開場 4:30)

入場料 1,500円

お問合せ TEL 0133-77-3008 携帯 090-7056-7325

★会場の都合により、30人限定です。申込みはお早めに！

石狩の夕日を眺めながら、南欧中世古楽の中から、民衆の力強い聖母マリア信仰を反映した歌を中心に、吟遊詩人、宮廷騎士道恋愛曲、ダンス曲などを織り交ぜた演奏をお楽しみください。

日本ではまだ非常に珍しい中世の楽器シトール、プサルテリー、ペルシャ由来のフレームドラム ダフ、笛と太鼓のパイプ&テイバーと、演奏される楽器も多彩です！

《演奏予定曲》

13世紀イタリア アッシジの聖フランシスコが始めた地域言語による賛歌ラウダより

- ・ O Maria d'omelia
- ・ Da ciel venne

13世紀スペイン ガリシア語の聖母マリアの頌歌集より

- ・ Loemos muit'a Virgen Santa Maria
- ・ Madre de Deus

14世紀スペイン スペイン第二の巡礼地で世通し巡礼者に歌い踊られた モンセラットの朱い本より

- ・ 「乙女なる母を賛美せん」 Mariam Matrem virginem
- ・ 「おお、輝ける聖処女よ」 O Virgo splendens

13世紀イタリア、フランスの舞曲

- ・ Saltarello
- ・ Estampie

13世紀フランス、ドイツの騎士吟遊詩人の歌

- ・ 「そは五月のこと」 Ce fut en mai / Moniot d'arras (1213-1239)
- ・ 「パレスチナの歌」 Palestinalied / Walther von der Vogerweide (1170-1230)

《中村会子プロフィール》

国立音楽大学音楽教育学科卒業・同西洋古楽コースをリコーダー専攻にて終了、ディプロマ取得。

リコーダーを古山和夫、声楽を鈴木美登里各氏に師事。他、声楽、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、クラシックギター、パーカッション、歌舞伎囃子など様々な楽器とアンサンブルを学び、同大給付研修奨学金を取得、英国にて古楽研修を受講。

在学中から中世音楽研究者杉本ゆり氏主宰Laudesi Tokyoに所属し、合唱隊及びリコーダー奏者として演奏活動に参加。

2012年に札幌へ移住後、イタリア、アイルランド、フランス、スペインの講習会、音楽祭等に参加し中世音楽研究及び演奏の研鑽を積む。

2014年、東京大学教養学部にて伊・アブルッツォ音楽史研究所F.Zimei氏特別講義レクチャーコンサートにて構成とリコーダーソリストを担当。札幌にて女声アカペラ・アンサンブルと器楽バンドを両立した3名編成の中世古楽アンサンブルViridis(ウィリディス)、及び札幌中世音楽研究会を発足・主宰し、「巡礼地の一夜・モンセラットの朱い本全曲演奏会」を企画監修、出演し好評を得る。

2015年、中世古楽デュオ「果樹園の扉」の活動をスタート。東京を中心に、札幌、名古屋、京都など全国での演奏活動を開始。

札幌ではViridisによる中世からルネサンス、時にはバロックに及ぶ広い範囲の古楽演奏を、気軽なカフェライブからフォーマルなコンサートまで幅広く行う一方、毎月1回「中世音楽を楽しむ会」ワークショップを行い、中世音楽史や音楽理論に触れながら、歌や様々な楽器を使った即興アンサンブルで気軽に古楽に接し楽しめる機会を提案している。